

**令和6年度
香川大学当初予算の概要**

1. 予算編成の基本的な考え方

令和6年度は、第4期中期目標期間の3年目となり、4年目終了時評価に向け目標値の達成のための取組みを推進し、本学の基本的な目標である『近未来のあるべき社会の姿を見据え、「持続可能な地方分散型社会の実現に貢献する人材の育成と研究の推進」をそのビジョンに掲げ、直面する社会課題の解決に取り組むとともに、新たな価値と魅力を創造し、地域から世界に発信する』の実現に向け、戦略的かつ効果的な予算編成を行う。

特に、次の取組みについて重点的に推進する。

(1) ミッション実現の加速化

- ・バイオインフォマティクス解析センターを新たに組織し、希少糖、地域医療、農作物品種育成等の分野で求められているゲノム解析業務の一元化や新たなゲノム研究創出の推進
- ・大学院創発科学研究科博士後期課程の設置とともに、大学院教学センターをリキョリスキル教育センターに改組し、社会人等のリスキリング需要を喚起するなど大学院における人材育成を推進
- ・創発科学研究拠点（産学共創リサーチ・ファーム）において、大学院創発科学研究科と連携しながら、既存の学問分野を超え、画期的な知や解決策の導出に関わるイノベーション創出研究の推進
- ・情報化推進統合拠点が中心となり、地域人材共創センター、イノベーションデザイン研究所、大学教育基盤センターなどと連携しDXを推進する人材の育成を推進
- ・デジタルONE戦略に基づくDX化の推進
- ・イノベーションの創出などの取組みに向けたDRI教育の一層の推進
- ・SDGsの実現に向けた取組みの推進

(2) 医学部総合教育・研究棟改修事業（医学部再開発）の着実な推進

(3) 「成果を中心とする実績状況に基づく配分」の評価を踏まえた取組みの一層の推進

(4) 厳しい財政状況を踏まえ、徹底したコスト削減を行い、限られた財源を効果的に活用することにより教育研究及び地域貢献を積極的に推進

2. 予算額と収支内訳

(1) 予算額は前年度より439百万円増加の40,129百万円

令和6年度予算

(単位：百万円、%)

区分	令和6年度	令和5年度	増減額	増減率
学部等	12,818	13,146	▲328	▲2.5
附属病院	27,311	26,544	767	2.9
合計	40,129	39,690	439	1.1

(2) 収入内訳

運営費交付金は、ミッション実現加速化経費が171百万円増加、退職手当等が540百万円減少、ミッション実現加速化係数(▲1.2%)に伴う減算76百万円等により458百万円の減少。補助金等収入は、勤務医の労働時間短縮に向けた体制整備補助金の増加等により59百万円の増加。附属病院収入は、手術件数の増加等により1,096百万円の増加。雑収入は、学校財産貸付料収入の増等により14百万円の増加。

(単位：百万円, %)

区 分	令和6年度	令和5年度	増減額	増減率	令和6年度収入割合
運営費交付金	9,724	10,182	▲458	▲4.5	24.2
学生納付金収入	3,911	3,915	▲4	▲0.1	9.8
補助金等収入	426	367	59	16.1	1.1
附属病院収入	25,336	24,240	1,096	4.5	63.1
雑収入	472	458	14	3.1	1.2
外部資金間接経費収入	160	145	15	10.3	0.4
目的積立金等繰入	100	383	▲283	▲73.9	0.2
合 計	40,129	39,690	439	1.1	100

・目的積立金の使途

医学部総合教育・研究棟改修事業(医学部再開発)に係る施設設備整備等

(3) 支出内訳

人件費は、人事院勧告準拠による給与改定や附属病院の看護師や医員等の増員により給与費が604百万円の増加、退職手当が530百万円の減少により全体として74百万円の増加。学長戦略経費は、ミッション実現の加速化のため182百万円の増加。診療経費は、医療材料費の増加等により207百万円の増加。債務償還経費の増加等。

(単位：百万円, %)

区 分	令和6年度	令和5年度	増減額	増減率	令和6年度支出割合	
人件費	19,368	19,294	74	0.4	48.3	
内 訳	給与費	18,925	18,321	604	3.3	47.2
	(学部等)	(9,377)	(9,276)	(101)	(1.1)	(23.4)
	(附属病院)	(9,548)	(9,045)	(503)	(5.6)	(23.8)
	退職手当	443	973	▲530	▲54.5	1.1
物件費	19,386	19,094	292	1.5	48.3	
内 訳	教育経費	644	534	110	20.6	1.6
	研究経費	437	337	100	29.7	1.1
	診療経費	16,260	16,053	207	1.3	40.5
	教育研究支援経費	697	779	▲82	▲10.5	1.7
	一般管理費等	652	877	▲225	▲25.7	1.7
	学長戦略経費	696	514	182	35.4	1.7
債務償還経費	1,370	1,297	73	5.6	3.4	
予備費	5	5	0	0	0	
合 計	40,129	39,690	439	1.1	100	

3. 令和6年度の主な事業

学長のリーダーシップのもと、第4期中期目標・中期計画を実現するための事業を実施し、本学のミッション実現に向けた取り組みを、戦略的かつ効果的に推進する。

(1) 研究の推進 236百万円

- ① バイオインフォマティクス解析センター設置によるゲノム研究の推進
 - ゲノム解析技術の一元化や新たなゲノム研究創出
- 創発科学研究拠点（産学共創リサーチ・ファーム）での研究プロジェクトの推進
- 研究推進事業の実施
 - ・ 科研費の獲得強化
 - ・ 若手研究者及び女性研究者の支援 等
- 特別推進研究の実施
 - 【創発研究（リサーチファーム・プロジェクト）枠】
 - ・ 持続可能な地域モビリティの実証研究
 - ・ 資源の再利用による高機能化と脱炭素化
 - 【SDGs推進枠】
 - ・ SDGs推進人材育成プロジェクト
 - ・ 瀬戸内圏環境資源研究イニシアティブ「漁場環境持続性強化・実証研究」プロジェクト等
 - ・ 地域課題解決のためのSDGs推進強化事業
- プロジェクト研究の推進
 - ・ 希少糖イノベーションの拠点形成
 - ・ レジリエント社会の創造
 - ・ デバイス技術による未来開拓
 - ・ 赤外分光イメージングによる新技術創出
 - ・ 包括的健康イノベーションの創出 等

(2) 教育の充実 371百万円

- ① リカリススキル教学センター設置による大学院を中心とした人材育成の推進
 - 社会人等のリスキリング需要の喚起による人材育成
- DRI教育の推進
- 数理・データサイエンス・AI教育の強化
- 医学部総合教育・研究棟改修事業（医学部再開発）の着実な推進
- ① 「デジタル・メディカルコモンズ」の整備
 - 医学実習のDX化により、次世代の高度医療人材育成や地域との共創活動の基盤となる教育研究拠点を整備
- D&I（ダイバーシティ&インクルージョン）の推進
- ネクストプログラムの推進
- グローバル人材育成
- 学生支援プロジェクト等の推進
- 障害学生支援の充実

- 講義室 I C T 環境の整備
- 附属学校園の教育環境の整備
- 四国の大学間連携による大学教育の共同実施 等

(3) 地域連携の推進 78百万円

- D Xを活用した社会人リカレント教育の実施
- 地域と連携した学生参加型実践教育プログラムの実施
- 香川と都市圏の大学連携の促進
- 感染症教育センターの運営
- 地域定着を意識した就職支援の推進 等
- レジリエント社会の創造及びサステイナブルな地方分散型社会への貢献（再掲）

(4) D X化の推進 142百万円

- 情報化推進統合拠点形成の推進
- 新「デジタル・メディカルコモンズ」の整備（再掲）

4. 学部等に対する教育研究活動実績状況に基づく運営費の配分

学部等の運営費予算の配分において、各学部等の教育研究活動の成果を予算に反映させるため、活動実績に基づく運営費の配分を行う。

(1) 国の指標に基づく運営費配分

①評価指標

- ・卒業・修了者の就職・進学率
- ・新規採用者に占める若手研究者比率
- ・常勤教員当たり研究業績の伸び率
- ・常勤教員当たり科研費獲得額・獲得件数の伸び率

②評価配分率：75%～125%

(2) 本学の独自指標に基づく研究費等の追加配分

①評価指標

- ・学部等の外部資金獲得額の伸び率

②評価配分率：75%～125%

5. 附属病院事業

附属病院については、悪化している経営状況の改善のため、特に入院診療の強化に重点的に取り組むこととし、早期に病院経営の安定化を図る。

【収入】

- ・オンライン予約システムの導入、関連病院訪問の強化や救急応需率の改善に取り組み、新規入院患者数の増加を図る。
- ・麻酔科医アシスタントによるタスクシェアや手術室の運用を見直すことで手術件数の増加を図る。
- ・画像診断管理加算等の診療報酬加算の取得促進などによる診療単価上昇等の積極的な増収策を講じる。

【支出】

- ・人件費については、人員補充などによる増加を見込んでいるが、医師の働き方改革による超過勤務の削減やタスクシフト・タスクシェア等に積極的に取り組み、全体の支出は可能な限り抑制する。
- ・診療経費については、入院患者数及び手術件数の増加に伴う医療材料費等の増加、物価高騰や委託費等の増加を見込んでいる。
- ・医療材料費や光熱水費の節減などコスト削減に徹底的に取り組む。

【令和6年度の主な施設設備整備事業】

- ・超伝導磁気共鳴画像（MR I）診断システムの更新
- ・高線量率密封小線源治療システム（RALS）の更新 等

【附属病院予算の収入・支出の内訳】

（単位：百万円，％）

区 分		令和6年度	令和5年度	増減額	増減率
収 入	附属病院収入	25,336	24,240	1,096	4.5
	（入院）	(17,315)	(16,891)	(424)	(2.5)
	（外来）	(8,021)	(7,349)	(672)	(9.1)
	運営費交付金	1,511	1,529	▲18	▲1.2
	補助金等	175	106	69	65.1
	（空床補償）	(0)	(97)	(▲97)	(▲100)
	（その他）	(175)	(9)	(166)	(1,844.4)
	雑収入等	289	669	▲380	56.8
計		27,311	26,544	767	2.9
支 出	人件費	9,548	9,045	503	5.6
	物件費	16,393	16,202	191	1.2
	（診療経費等）	(16,260)	(16,053)	(207)	(1.3)
	（一般管理費等）	(133)	(149)	(▲16)	(▲10.7)
	債務償還経費	1,370	1,297	73	5.6
計		27,311	26,544	767	2.9

6. 施設整備計画

施設整備計画は別表のとおり

令和6年度施設整備事業

番号	事業名	事業概要	財源内訳
1	講義実習棟改修2期 (医学部)	老朽化の著しい実習棟の老朽改善及び機能強化を実施	施設整備費補助金
2	ライフライン再生(排水処理設備等) (医学部)	老朽化の著しい排水処理施設の電気関連設備の更新	施設整備費補助金
3	ライフライン再生(排水処理施設等) (附属病院)	老朽化の著しい排水処理施設の電気関連設備の更新	施設整備費補助金
			財政融資資金
4	第一体育館改修 (幸町キャンパス)	老朽化の著しい第一体育館の外部・内部改修	施設費交付金